

平成27年度 美馬市立三島中学校 学校評価総括表

美馬市立三島中学校長 西平 郁夫

(学校教育目標)
美馬市学校教育基本方針に基づき、人権を尊重し、自ら学ぶ意欲と主体的に生きようとする力を育て、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな生徒を育成する。

校訓
強 く…強い意志と強健な身体を育む
正 しく…正しい人権意識と生き方を培う
美 しく…美しく豊かな心と創造性を養う

学級数	児童総数	教職員数
6	43	13

<p>中期目標</p> <p>平成27年度 重点課題</p>	<p>子どもたちの成長を全ての教育活動の中心において取り組む。 保護者・地域との連携を一層推進する。 教職員の和を大切にする。</p>
------------------------------------	---

めざす生徒像

- ・自ら学ぶ意欲に満ちた生徒
- ・自他の人権を尊重する生徒
- ・思いやりのある心豊かな生徒
- ・心身ともに健康で、たくましく生きる生徒
- ・粘り強く、誠実に努力する生徒

重点目標	評価項目	評価指標	具体的な方策・手立て	自己評価	結果の考察及び次年度改善策
子どもたちが社会に出て自立できる態度や実践力を養うために知恵を絞る。	全教職員が積極的に生徒に関わり、長所を伸ばしていき、弱点を補う。 わかる授業の創造に向けて指導力の向上を図る。 自ら学ぶ方を付けさせる。	生徒を認め、自分の良さを理解させ、自己肯定感を高めさせる。 教員が年1回授業を公開し、授業力を向上させる。 家庭学習の方法を理解させ、定着させる。	生徒の成長を認め、ほめる。 昼休みや放課後の補充学習を継続的に進める。 全校ランニング(体力づくり)に取り組む。 研究授業を年7回は実施する。 授業研究会を簡素化するなど研修方法の工夫をする。 「家庭学習の手引き」を具体的に指導する。 提出物の確認を確実に行う。	B A B	子どもの長所をのぼすため全職員で取り組む。 個別指導の徹底を継続する。 早い時期に100%の研究授業実施が図れた。次年度も継続しさらなる授業力の向上を図る。 家庭学習の定着が図れる手立てを個別指導する必要がある。
保護者や地域の方々の想いを受け止め協力しながら教育にあたる。	小中連携を生かした教育活動を推進する。 学校と家庭のスムーズな連携で教育効果を高める。 地域連携・人材活用を推進する。	小中の授業等について相互の取り組みを理解する。 学校の活動を知らせ、常に連絡を取る。 地域人材の活用や地域行事への参加を積極的に行う。	小中の授業公開を年3回以上は実施する。 行事の合同開催を3回実施する。 子どもの変化に対して保護者と密な連絡を行う。 HP・学年便りの紙面を工夫する。 地域支援ボランティアに年3回以上協力を仰ぐ。 地域行事に全職員1回以上は参加する。	B B A	小中連携を音楽、合唱、特別支援学級等を中心に行った。 より一層の連携を図る。 HPへの行事写真を積極的に更新できた。学年便りを見直す。 支援ボランティアさんに大変お世話になった。 地域行事の参加者も工夫した。 校内研修の確保は十分できた。 内容や形態に工夫改善をしたい。
風通しの良い職場づくりに取り組む。	職場の協働・同僚性を高める。 教職員で情報を共有する。	OJTを効果的に機能させる。 報告・連絡・相談を徹底する。	校内研修の時間・場所の確認をする。 企画・運営を任せ、アイデアや手法を共有する。 タテ・ヨコの連携を促進する。 教職員相互が連携してリスク点検、改善を図る。	A B	

(評価基準 : A 十分に達成できた B おおむね達成できた C やや目標を下回った D 改善を要する)

◆学校関係者評価委員会の評価

授業参観や学校行事に参加して、教師の姿勢が真剣で、子どもたちに力を付けていることが分かる。
アンケートは結果だけで判断せず、子どもの本心や地域の声に耳を傾け、とにかくAをめざして粘り強く取り組んでほしい。

◆評価結果と次年度についての校長所見

地域・家庭との連携を一層重視し、現状に甘んじることなく、子どもたち一人一人の力を最大限伸ばすよう努め、全ての評価項目でA評価をめざす。